

いわて便り

No. 1

2016年6月10日発行

6月号

日本生協連
組合員活動部

このたび、いわて生協が取り組んでる被災地支援活動の様子や被災地の情報をお知らせする「いわて便り」を発行することになりました。



ふれあいサロン

毎月60回開催しています。

4月度、ふれあいサロンでは手芸が4回行われました。仮設住宅に住まわれている方はサロンの日が楽しみで、遠足の前日のような気持ちだったそうです。



＜スタッフの声＞

縁起の良い飾り物に挑戦しながらも細かい作業に結構時間がかかりました。完成したときには皆さん笑顔。やはりひとつの事に集中し仕上げる喜びは大きく良いですね。手を動かし情報交換の場としてのサロンは存在感があります。

布バック作りの様子です。
「このくらいの大きさは使いやすいよね！」と好評でした。



バスボランティア

震災直後から今回までに通算153回開催しています。

4月16日(土)は、大槌町の菜の花プロジェクトで河川敷の花壇整備を行いました。今シーズン初めての
大槌町でのバスボランティアです。半年振りに訪れた人も多く、建設中だった橋も完成し、公営住宅の入居も始まっていました。また、昨年植えた桜も開花しており、植樹に携わった人は花見もしていました。





ボランティア交流会・感謝のつどい

3月30日「ボランティア交流会・感謝のつどい」を陸前高田市で開催しました。支援先団体、組合員ボランティア、岩手県に継続支援いただいている生協など137名が参加しました。

陸前高田副市長から陸前高田市の現状報告、日本生協連浅田会長の挨拶、地元団体からの活動報告、グループ交流など充実の2時間となりました。みんなでこれからも力を合わせて活動継続することを確認しました。



知っていますか？ ～仮設住宅の戸数～

岩手県の応急仮設住宅、みなし仮設住宅の状況（2016年3月31日現在）

	戸数	人数
応急仮設中住宅	7,481 戸	15,776 人
みなし仮設住宅	1,792 戸	4,634 人
合計	9,273 戸	20,410 人

仮設住宅はピーク時319団地に13,984戸でしたが、2016年3月31日現在、297団地に13,095戸、入居戸数は7,481戸、入居率57%です。今もなお、2万人の方が仮の住まいという状況です。

サロンボランティアの声

「ふれあいサロン」は組合員ボランティアが仮設住宅集会所などに伺って開催しています。内陸地域からは、2時間以上かけてバスで被災地に通っています。そんな活動をされているボランティアさんたちの声を紹介します。

「みやこ弁カルタ」を行い、一生懸命で本気モードの人も。ボランティアの読み方がおかしいと大笑いしたり、支援のお菓子もおいしくいただきました。（宮古二中仮設）

久しぶりに皆さんが集まってくれました。手芸をしながらこの5年間のことを懐かしく話し、胸が熱くなりました。（釜石市洞泉雇用促進住宅）

小槌第4仮設から転居が進み集会の機会がなくなったので、当会場まで足を運んでくださいました。毎回行っているグーパー体操からスタート。いつもと違う動きに脳は刺激されたでしょうか？そして脳トレドリルに挑戦！みなさん真剣で夢中になって取り組み、予想以上に好評だったのでまた挑戦することを約束しました。（大槌町小槌第16仮設）

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉